

こつざい 交差点

昭和石材工業所 代表取締役社長

高瀬 順司



現在、私たちを取り巻く環境は、デジタル技術をはじめとする技術革新や社会の急速な変化によって、大きな転換期を迎えています。従来の常識やスキルだけでは十分に

対応できない時代が到来しており、これからの企業の持続的な発展には、変化に柔軟に適應できる人材の育成が欠かせません。

特に重要視されるのは、問題解決能力とリーダーシップを兼ね備えた人材です。しかし、現代において求められるのはこれらの能力のスキルの高さだけではなく「自

人材育成への取り組み

律「共感」「挑戦」の3つの要素を持ち合わせる人材こそが理想だと考えます。

こうした人材を育てるために、私は経営陣だけでなく、現場での中核人材の育成にも積極的に関与しています。

また、従業員にはできるだけ多くの人との交流の場を提供し、問題解決能力やリーダーシップ能力を育む機会を確保しています。これらの能力のベースとなるものが、「物事を正確に伝えるスキル」だと考えています。物事を適切に言語化

する力は、思考の解像度を高め、論理的に考え分析する能力を育みます。

さらに、相手の立場に立って伝え方を工夫することで、より深い理解と共感を生み出すことができます。この力こそが、問題解決能力やリーダーシップを発揮するための土台となるのです。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉があります。この教えを私自身も胸に刻み、社員と共に学び、成長し、新しい価値の創造に挑み続けていきます。